

令和 8 年度 夏の企画展「見て楽しい！日本の城づくり」
美術品梱包輸送等業務仕様書

1 業務概要

広島県立歴史博物館（広島県福山市西町二丁目 4-1）（以下「当館」という。）において開催する令和 8 年度夏の企画展「見て楽しい！日本の城づくり」に展示する美術品等について、各履行場所において、指定した美術品等を梱包し、輸送車両に積み込み、輸送する。

2 展示資料

別紙「資料一覧」のとおり。

3 作業日程

(1) 借用に係る梱包及び輸送

ルート 1 令和 8 年 6 月 23～25 日、30 日、7 月 1 日のうち 1 日間

ルート 2 令和 8 年 6 月 20 日～7 月 10 日のうち、ルート 1・3 の日程と重複しない 1 日間

ルート 3 令和 8 年 6 月 20 日～7 月 10 日のうち、ルート 1・2 の日程と重複しない 1 日間

(2) 返却に係る梱包及び輸送

ルート 1 令和 8 年 9 月 10 日～9 月 30 日のうち 1 日間

ルート 2 令和 8 年 9 月 10 日～9 月 30 日のうち 1 日間

ルート 3 令和 8 年 9 月 10 日～9 月 30 日のうち 1 日間

※作業日程の詳細については、当館と協議の上決定する。

4 履行場所

ルート 1

- | | | |
|-------|-----------|-------------|
| 1 か所目 | 兵庫県立歴史博物館 | 兵庫県姫路市本町 68 |
| 2 か所目 | 丸亀市立資料館 | 香川県丸亀市一番丁 |

ルート 2

- | | | |
|-------|---------------|-------------------|
| 1 か所目 | 島根県立古代出雲歴史博物館 | 島根県出雲市大社町杵築東 99-4 |
| 2 か所目 | 松江歴史館 | 島根県松江市殿町 279 |
| 3 か所目 | ふくやま美術館 | 広島県福山市西町二丁目 4-3 |

ルート 3

- | | | |
|-------|---------|------------------|
| 1 か所目 | 岩国徴古館 | 山口県岩国市横山二丁目 7-19 |
| 2 か所目 | 広島城（天守） | 広島県広島市中区基町 21-1 |

5 梱包及び輸送手順

(1) 借用時は、各履行場所において、経由した順に、美術品等を梱包して輸送車両に積み込む作業を行い、完了後、当館まで輸送し、当館学芸員が指示する位置に搬入する。

(2) 返却時は、当館において、美術品等を梱包して輸送車両に積み込む作業を行い、各履行場所まで輸送し、経由した順に、輸送車両から美術品等を下ろし、開梱及び返却を行う。

※ 各履行場所における梱包及び輸送に係る特記事項については、別紙「資料一覧」及び別紙「資料写真」の内容を確認すること。

6 梱包に係る特記仕様

- (1) 美術品梱包輸送技能取得士（２級）を１名以上又は同（３級）を２名以上配置すること。
- (2) 作業員の人数は、資料の安全な梱包及び運搬に必要な数を確保すること。
- (3) 梱包資材は、資料の形状や性質に応じて、資料に適した規格かつ材質のものを準備し、資料を損傷しないよう十分に配慮すること。
- (4) 資料の梱包は、当館学芸員立会のもと行い、学芸員からの指示がある場合は従うこと。

7 輸送に係る特記仕様

- (1) 美術品梱包輸送技能取得士（２級）を１名以上又は同（３級）を２名以上配置し、走行時には、積載資料を損傷しない安全速度で走行すること。
- (2) 輸送車両には、当館学芸員１名が同乗可能であることとし、各履行場所における車両の進入路及び駐車位置等については、同学芸員の指示に従うこと。
- (3) 美術品輸送専門車両（２ｔ又は４ｔトラック）を準備すること。なお、ルート２及び３において、美術品輸送専門車両が４ｔトラックとなる場合は、別途、履行場所付近の狭い道路を通行可能な小型車両（２ｔトラック等）を中継輸送用に準備すること。
- (4) 輸送車両には、当館借用資料のみを積載すること。

8 保険について

資料評価額を１点1000万円とし、梱包、輸送、開梱に係るオールリスクの輸送保険（損害保険、外部格付けAランク以上）に加入すること（展示業務は含めない）。

美術品梱包輸送 資料一覧

会期：令和8年7月17日（金）から9月6日（日）

	No.	資料名	点数	年代	借用場所
ルート1	1	江戸城天守模型（縮尺1/50）	1	現代	兵庫県立歴史博物館
	2	石垣積み体験模型	1	現代	
	3	丸亀城木図（丸亀市指定文化財）	1	江戸時代	丸亀市立資料館
ルート2	1	伝松江城三之丸御殿 懸魚及び鰭	1組	江戸時代	古代出雲歴史博物館
	2	松江城天守古材	1	江戸時代	松江歴史館
	3	松江城三之丸御殿間取図	1	江戸時代	
	4	松江城三之丸御殿釘隠	1	江戸時代	
	5	福山城旧伏見御殿杉戸絵	2	江戸時代	ふくやま美術館
	6	福山城復元イラスト（香川元太郎作品）	1	現代	
ルート3	1	伝岩国城建地割図	1	江戸時代	岩国徴古館
	2	花鳥図板戸	2	江戸時代	
	3	元朝登城之図	1	明治時代	
	4	御館平面図	1	江戸時代	
	5	金箔鯨瓦（広島城跡上八丁堀地点出土）	2	安土桃山時代	広島城
	6	金箔鬼板瓦（広島城跡上八丁堀地点出土）	1	安土桃山時代	

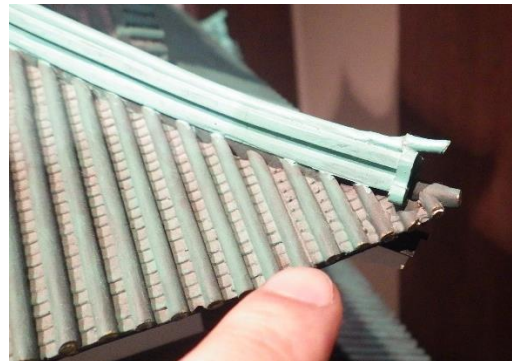
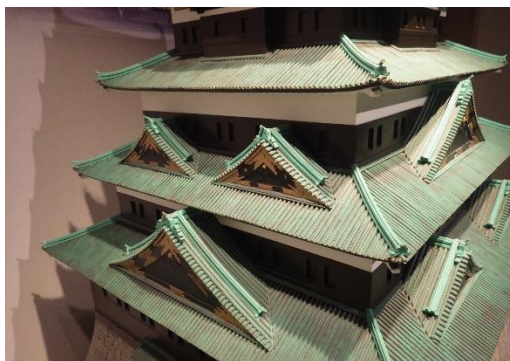
ルートⅠ

Ⅰ 江戸城天守模型（縮尺 1/50） （作業場所：兵庫県立歴史博物館）



- 形 状** 立体的な形。屋根部に突起あり。組み立て式ではなく、一体作り。
- 大きさ** 高 130×台の一辺 100 cm。
- 注意点** 樹脂製であり、さほど重さはない。屋根の突起部分に注意する。
梱包時は、台座から石垣にかけての下部で固定すること。
展示室にあるため、最低限の梱包を行い別室に移動した後、仕上げ梱包する。

拡大



2 石垣積み体験模型

(作業場所：兵庫県立歴史博物館)



- 形 状** 立体的な形。7つの部品に分かれる。専用ジェラルミンケース付きで借用。
- 大きさ** (本体のみ) 高 65×台の一边 70 cm。
(ケース入り状態) 高 76×幅 74×奥 71 cm。
- 注意点** 組立てた状態で専用ケースに入れ、そのまま輸送。ケース自体の梱包は不要。
ケース内にはクッションが貼られているが、薄葉紙等により、隙間に対する詰め物のみ行うこと。ケース下面にキャスターが付いており、動かせる。
輸送車両のなかで、キャスターが横滑りしないよう固定すること。

分解状態



専用ジェラルミンケース



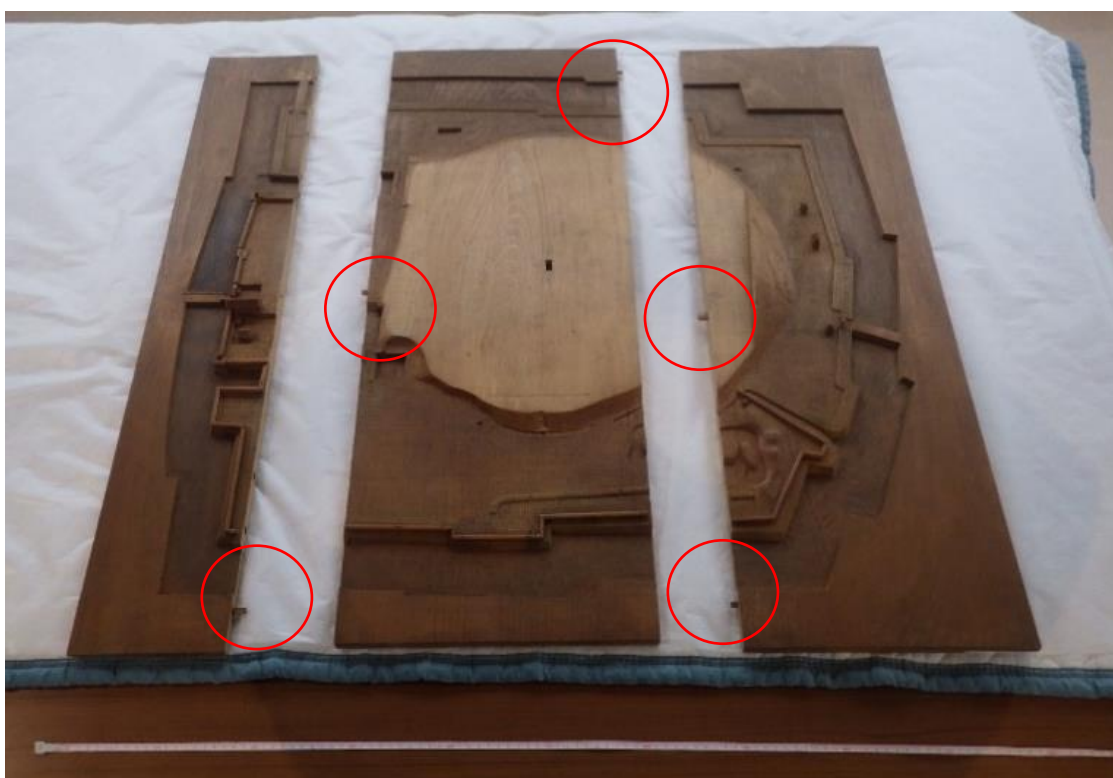
3 丸亀城木図

(作業場所：丸亀市立資料館)



次のとおり5つの部品に分解される。小分けて梱包する。

山下部分（3つの部品）



形 状 すべて平たい板状。

大きさ 右 長93×幅30×高4cm、中 長93×幅34×高3cm、
左 長93×幅17×高4cm

注意点 側面に長さ1～2cmの突起あり（○部分）。

山下部分（側面突起の拡大）



山上部分（2つの部品）



- 形 状 右 小山状の台座上に小さな建物が固定されている。下面は平坦。
左 細長い棒状。
- 大きさ 右 長49×幅32×高11 cm、左 長32×幅4×高2 cm
- 注意点 台座と建物は強く接着しているが、突起物のため、台座でおさえること。
台座下面の中央1か所に突起あり。

山上部分（台座の下面および中央の突起（○部分））



山上部分（上面の建物）



山上部分（棒状部品）



ルート 2

1 懸魚（中）及び鰭（左右）

（作業場所：島根県立古代出雲歴史博物館）



3つの部品からなる。小分けて梱包する。

懸魚



懸魚（下面）



- 形 状 彫り平たい板の一部に突起あり（○部分）。下面は平坦。
- 大きさ 長 60×幅 42×高 14 cm（突起部分を除くと高 5 cm）
- 注意点 台座と突起は固定されているが、若干動く。

懸魚（突起部分）

隙間（矢印部分）には薄葉紙等を詰めて固定する。



懸魚（側面）



鰭（右）



形 状 平たい板を彫り出してある。下面は平坦で、彫りがない。
大 小 長 54×幅 18×高 5 cm
注 意 点 彫刻の突起に注意。

鰭（右）（下面）

2 か所、わずかに釘が出ている（○部分）。



鰭（右）（部分・横から）



鰭（左）

1 か所が欠けて、わずかに釘が出ている（○部分・右写真）。



形 状 平たい板を彫り出してある。下面は平坦で、彫りがない。

大きさ 長 51×幅 19×高 5 cm

注意点 彫刻の突起に注意。

鰭（左）（下面）



鰭（左）（部分・横から）



2 松江城天守古材

(作業場所：松江歴史館)



墨書の拡大

- 形 状** 棒状で、中央が厚く、両端が薄い。一部に突起あり（○部分・左上写真）。
下面は平坦だが、2か所に溝が彫られている。
- 大きさ** 長 131×幅 16×高 15 cm（両端は高 5 cm）
- 注意点** 突起に注意する。一部に墨書がある（□部分・右写真）。
墨書には、薄葉紙等をあてて、直接触れないようにする。

松江城天守古材（下面）

矢印部分に、長 12×深 4 cm 程の溝あり。



側面の一部に欠けあり。

3 松江城三之丸御殿間取図

(作業場所：松江歴史館)



形 状 軸装。付属の木箱なし。

大きさ (巻いた状態) 長 158×太 5 cm程

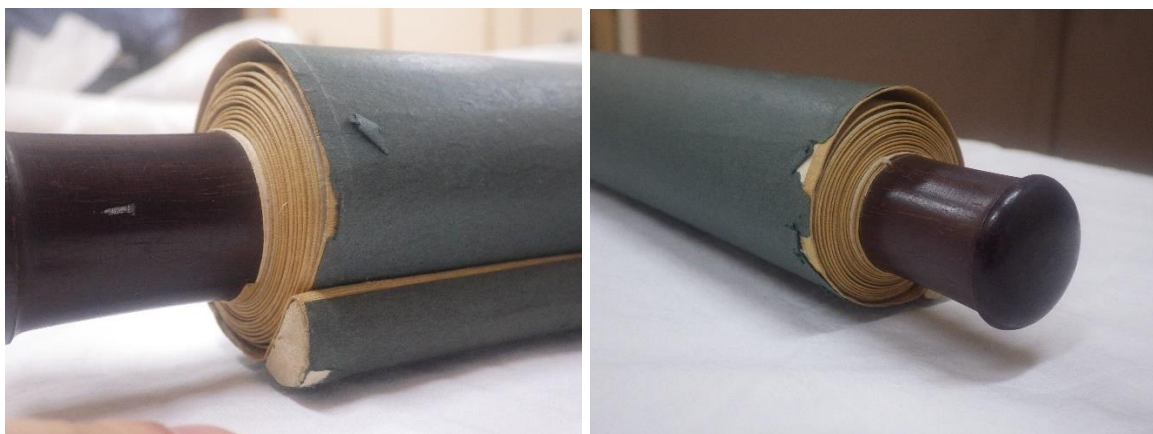
(広げた状態) 長 192×幅 158 cm

注意点 巻いた状態では、両端付近に若干の紙のめくれあり。また、朱書きあり。
巻いて梱包するが、内側(本紙)に小さい紙片を貼った箇所(○部分)があるため、強く巻いたり、巻いた外側から強く押さえないよう注意する。
掛緒、八双など、表装は健全。

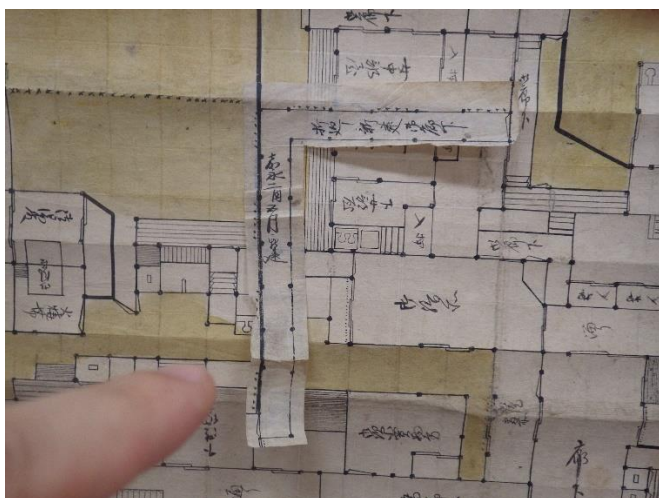
松江城三之丸御殿間取図（巻いた状態）



松江城三之丸御殿間取図（軸端付近）



松江城三之丸御殿間取図（開いた状態・本紙に貼られた紙片の拡大）



4 松江城三之丸御殿釘隠
(作業場所：松江歴史館)



本体

- 形 状 金属製。上面が突き出し、下面が凹む。付属の木箱、文書もあわせて借用。
- 大きさ (本体) 長 16×幅 9×厚 1 cm
(木箱) 長 18×幅 11×高 4 cm (蓋を除くと高 3 cm)
(文書) (疊んだ状態) 長 18×幅 13 cm。薄い。この状態で梱包する。
(広げた状態) 長 42×幅 29 cm。薄い。
- 注意点 (本体) 健全。端部のわずかな突起のみ注意。
(木箱) 健全。蓋の両面に墨書・朱書きあり。直接触れないよう注意。
(文書) 薄いため、破かないよう注意。

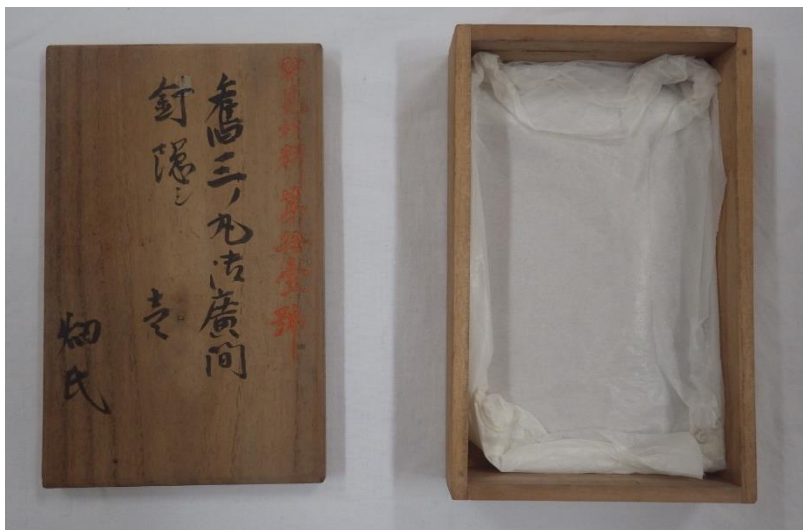
松江城三之丸御殿釘隠 (本体・横から)



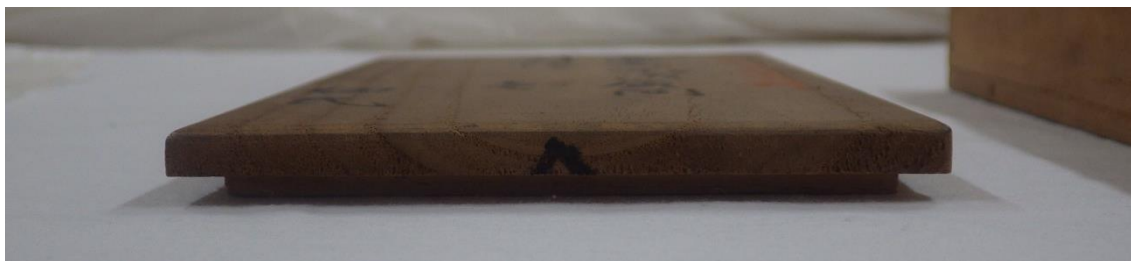
松江城三之丸御殿釘隠 (本体・下面)



松江城三之丸御殿釘隠（木箱）



松江城三之丸御殿釘隠（木箱・蓋・横から）



松江城三之丸御殿釘隠（木箱・身・下面）



松江城三之丸御殿釘隠（文書・畳んだ状態）

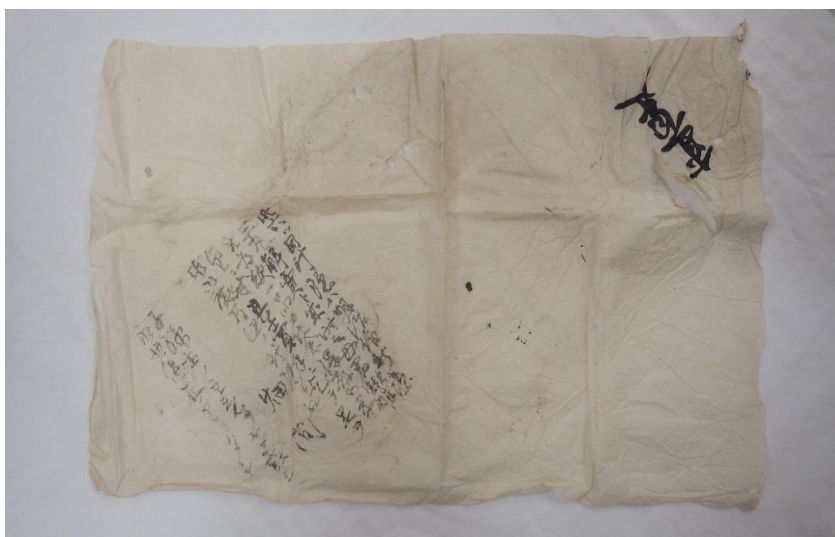


上から



横から

松江城三之丸御殿釘隠（文書・開いた状態）



5 福山城旧伏見御殿杉戸絵
(作業場所：ふくやま美術館)

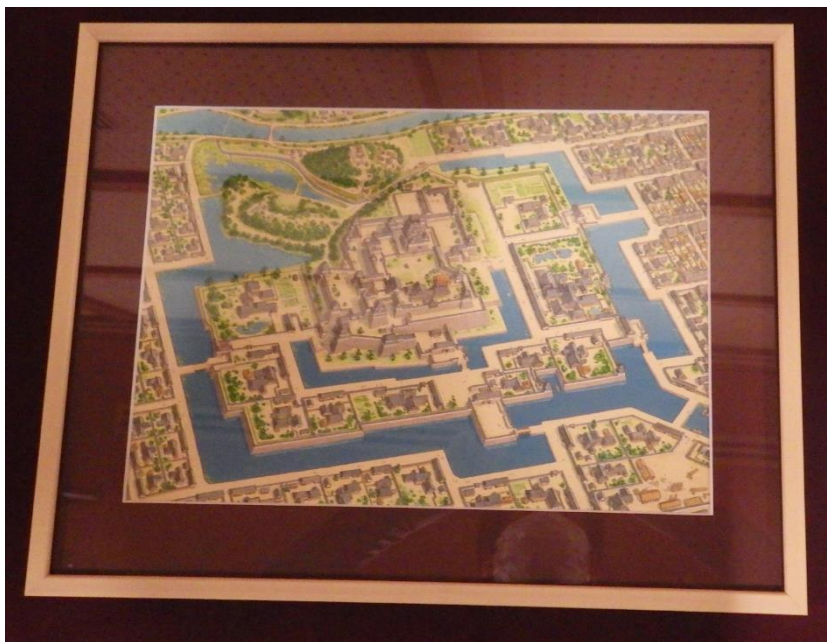


- 形 状** 板状。表面に絵が描かれ、引手金具が付く。裏面には絵も金具もなし。
金具は裏面からシールが貼られ、強く固定されている。
- 大きさ** 高 173×幅 99×厚 4 cm程（2面とも同規格）
- 注意点** 絵の部分は保存処理済みであり、顔料の剥落は心配なし。
2点とも、両側の、縦方向の縁が上下に動き、抜けやすい。
両側の縁は支えるのみとし、下端の縁の下を持って持ち上げること。



引手金具

6 福山城復元イラスト（香川元太郎作品）
（作業場所：ふくやま美術館）



- 形 状 額装。表面にガラス面あり。
- 大きさ 高 45×幅 57×厚 3 cm程
- 注意点 新しい作品であり、状態は健全。ガラス面のみ注意する。

側面

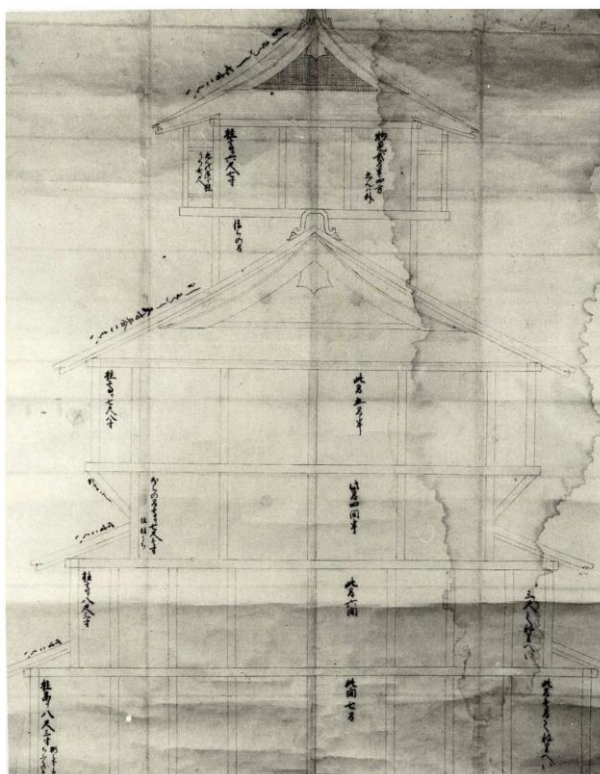


裏面



ルート 3

Ⅰ 伝岩国城建地割図 (作業場所：岩国徴古館)



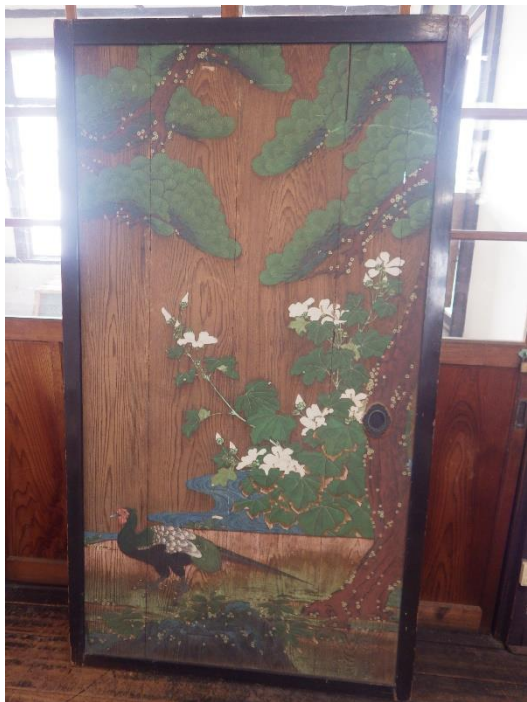
- 形 状 紙を貼り合わせて作られ、筒状に巻かれている。表装なし。
- 大きさ (巻いた状態) 長 160 cm×太 13 cm程 (エアキャップ込みで長 240 cm)
(広げた状態) 長 196×幅 159 cm
- 注意点 巻いた状態で梱包する。

巻いてエアキャップで包んだ状態 (奥の筒)



2 花鳥図板戸

(作業場所：岩国徴古館)



A面



B面



- 形 状 板状。両面に絵が描かれ、引手金具が付く。1点の片面のみ金具が欠ける。
- 大きさ 高 173×幅 98×厚 3 cm程（2面とも同規格）
- 注意点 絵の部分が剥落しないよう、直接触れないようにする。
2面とも、両側の、縦方向の縁が上下に動き、抜けやすい。
両側の縁は支えるのみとし、下端の縁の下を持って持ち上げること。
板同士または板と縁の間に隙があり、必要に応じて詰め物等で固定すること。

板同士の隙間



側面



引手金具周辺



3 元朝登城之図

(作業場所：岩国徴古館)



形 状 額装だが、ガラス面なし。

大きさ 高 50×幅 125×厚 4 cm

注意点 表面には直接触れないよう注意する。

裏面には釘がわずかに出ているところあり。貼り紙のめくれあり。

置いたまま引きずらないようにする。

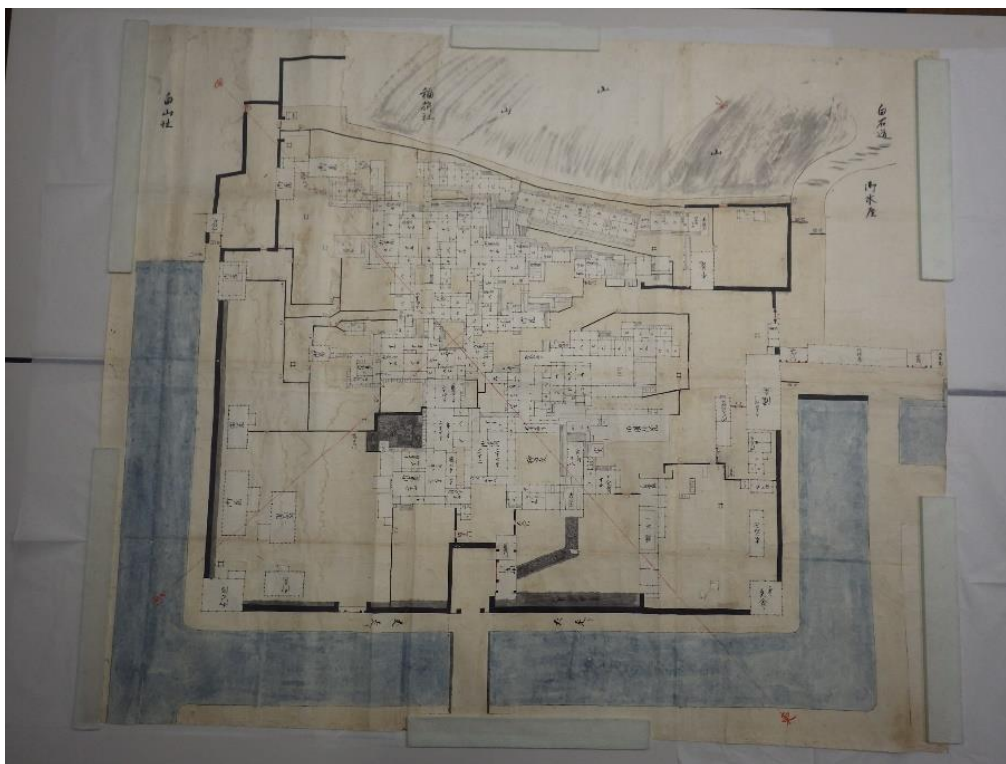
元朝登城之図（裏面）

釘の突起（○部分）や貼り紙のめくれ（□部分）がある。



4 御館平面図

(作業場所：岩国徴古館)



- 形状 紙を貼り合わせて作られ、芯に巻かれている。表装なし。芯ごと借用する。
- 大きさ (巻いた状態) 長 128 cm × 太 9 cm 程
(広げた状態) 長 128 × 幅 107 cm
- 注意点 巻いた状態で梱包する。

巻いた状態 (手前の筒)



5 金箔鯨瓦

(作業場所：広島城（天守）)



1 点目



2 点目

形 状 中空である。各点とも、4つの部品に分解する。
金箔と赤色顔料が塗られている。

大きさ 1 点目
(部品A) 高 70×幅 35×長 40 cm
(部品B) 高 10×幅 23×長 30 cm
(部品C) 高 11×幅 15×長 21 cm
(部品D) 高 10×幅 15×長 21 cm

2 点目

(部品E) 高 68×幅 31×長 42 cm
(部品F) 高 11×幅 23×長 28 cm
(部品G) 高 8×幅 15×長 15 cm
(部品H) 高 10×幅 15×長 25 cm

注意点 健全。小分けて梱包すること。
金箔と赤色顔料は保存処理済みであり、剥落止めが行われている。
金箔には直接触れないようにすること。

金箔鯨瓦 Ⅰ点目（部品A・左から側面、正面、側面、背面）



金箔鯨瓦 Ⅰ点目（部品B・上段左から側面、上面、側面、下面、下段は側面）



金箔鯨瓦 Ⅰ点目（部品C・左から上面、側面、下面、側面、下段は側面）



金箔鯨瓦 Ⅰ点目（部品D・左から下面、側面、上面、側面、下段は側面）



金箔鯨瓦 2点目（部品E・左から側面、正面、側面、背面）



金箔鯨瓦 2点目（部品F・上段左から側面、上面、側面、下面、下段は側面）



金箔鯨瓦 2点目（部品G・上段左から上面、側面、下面、側面、下段は側面）



金箔鯨瓦 2点目（部品H・上段左から下面、側面、上面、側面、下段は側面）



6 金箔鬼板瓦

(作業場所：広島城（天守）)



- 形 状 概ね板状。金箔が貼られている。
- 大きさ 高 48×幅 70×厚 11 cm
- 注意点 金箔は保存処理済みであり、剥落止めが行われている。
金箔には直接触れないようにする。

5 金箔鯨瓦・6 金箔鬼板瓦（作業場所：広島城（天守））

運搬及び輸送に係る特記事項

【運搬について】

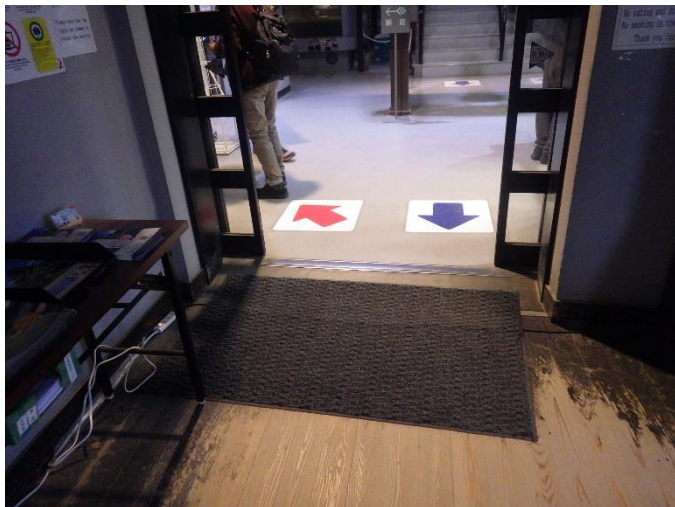
- 天守内にエレベーターがないため、資料がある二層目から天守入口まで、階段を歩いて人力で運ぶ必要がある。
- 天守の真横まで輸送車両が近づけないため、天守入口から輸送車両の停車位置まで、外階段を歩いて人力で運ぶ必要がある。

【輸送について】

広島城天守に向かう本丸内の通路は幅が狭く、4 t 車は通行できないため、2 t 車以下の車両を使用する。

（詳細は以降のページを参照すること）

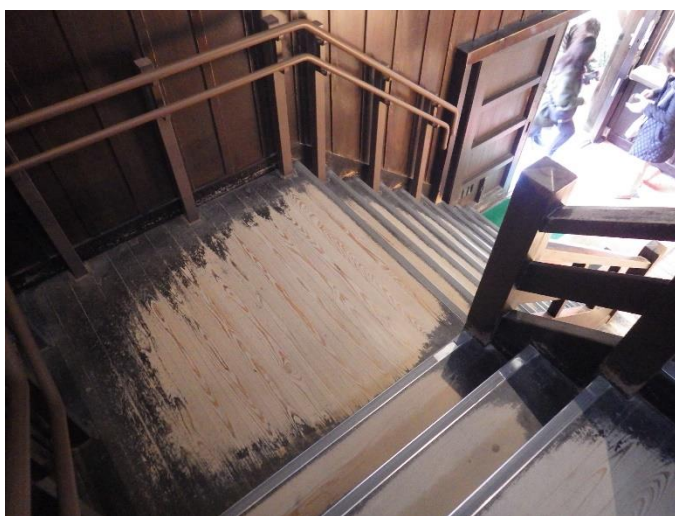
搬出経路（人力）



1 二層目から階段へ



2 階段（幅 130cm）



3 階段から天守入口へ

搬出経路（人力）



4 天守入口（幅 130cm、高 170cm）



5 天守入口前広場



6 外階段（上段）

搬出経路（人力）



7 外階段（下段）（幅 170cm）



8 外階段下の車両停車位置



車両進入路最狭部（マップ②、幅

史跡広島城跡マップ

※天守までの道幅が狭く、2 t 車が必要。

(ポイント②が幅220cmで最狭地点)

- 進入ルート 1
- 進入ルート 2
- 手運び区間 (車両進入不可能)

